

[2023/2/11 JDCHCT/全国調査ニュース（第45回 日本造血・免疫細胞療法学会総会プログラム）](#)

TRUMP2 アカウソトの管理について

坂井 志帆 （日本造血細胞移植データセンター, JDCHCT）

1

TRUMP2 アカウソトの管理について

- 1. 「ER/ES指針」とは
指針の概要説明**
- 2. TRUMP2でのアカウントの管理方法について**
- 3. JDCHCTホームページでの各種案内について**

「ER/ES指針」についての簡単なご紹介ののち、TRUMPのアカウントの管理方法や、新しい機能などについてご説明いたします。
また、最後には、現在データセンターで管理しているレジストリに関連し、データセンターで公開している資料についてご紹介します。

- 1. 「ER/ES指針」とは
指針の概要説明**
2. TRUMP2でのアカウントの管理方法について
3. JDCHCTホームページでの各種案内について

ではまず、「ER/ES指針」とはなにか、ご紹介いたします。

「ER/ES指針」とは

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

通知元：厚生労働省医薬食品局長

**「医薬品等の承認又は許可等に係る申請等における
電磁的記録及び電子署名の利用について」**

(2005年4月1日通知)

→信頼性確保の為の留意事項

真正性(なりすまし、改ざんのリスク)、見読性、保存性(消失/
変質/破壊/読み出せないなどのリスク)、IDやパスワードといった
個人管理すべき情報の取り扱いetc…

★アカウントの管理は、データ品質に大きなかわり★

4

「ER/ES指針」というのは略称です。2005年に、厚生労働省医薬食品局長より通知された「医薬品等の承認又は許可等に係る申請等における電磁的記録及び電子署名の利用について」という指針を指しています。

この指針では、電子データの使用における信頼性担保の留意事項が示されています。

なりすましや改ざんがなく、責任が明確であることをあらわす「真正性（しんせいせい）」、記録された内容を人の目でみてわかるようにしておく「見読性（けんどくせい）」、これらの状態が続いたまま、必要な期間データを確保できる「保存性（ほぞんせい）」といった内容から、もっと身近な、IDやパスワードといった個人管理すべき情報の取り扱いなども記載されています。

ご存じの通り、TRUMPをはじめとしたレジストリは、医療データを入力する為にそれぞれのアカウントを作り、必要な情報を蓄積していくものです。このデータ入力を行うための窓口となる「アカウント」は、その管理が、入力されるデータの品質にとって、とても重要となります。

■ TRUMPデータ入力・提出用アカウント作成

- TRUMPデータ入力・提出用アカウントを複数人で共用することは禁止
- アカウントの管理（追加・編集・削除）はご施設のTRUMPホーム画面右下の「設定」ボタンよりご対応ください



皆様にご施設でお使いいただくTRUMPでは、ご施設にて操作いただき、データ入力・提出用アカウントを作成することが可能となっています。但し、こちらでおつくりいただいたアカウントは、複数人でお使いいただくことを禁止しています。「ER/ES指針」では、電子データの作成者と責任者を明確にすることが指摘されていますので【どなたのアカウントから】入力・提出されたデータであるかを明確にすることが大切です。なお、アカウントの追加・編集・削除をご施設のTRUMPで行っていただく際は、スライドでお示ししている通りTRUMPホーム画面右下の「設定」ボタンよりご対応ください。

「ER/ES指針」とは

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■ パスワードの管理



6

また、おそらく多くの方にとって「パスワードの管理」の重要性については、とても身近な話題だと思います。第三者に知らせないこと、誰かに知られてしまった場合は必ず変更することはもちろんですが、入力しているときのご自身の背後・周囲から、内容が見られていないか注意することも、安全なパスワード管理への一歩と言えます。

1. 「ER/ES指針」とは 指針の概要説明

2. TRUMP2でのアカウントの管理方法について

3. JDCHCTホームページでの各種案内について

では、直近のバージョンアップより、アカウント管理の厳格化が行われた【TRUMP】がどのように「ER/ES指針」に対応しているかを説明させていただきます。

ここからご紹介する内容には、「ER/ES指針」に対応して、近年データセンターで検討がなされた最新の情報を含んでおります。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■アカウントの管理

TRUMPデータ入力・提出用アカウントは、
必要な情報がJDCHCTに報告された個人にのみ発行することが可能

→アカウントを保持する人物は、
もれなくJDCHCTまで氏名・メールアドレスの報告が必要

→必要情報の変更・追加報告には
「施設情報確認書（造血細胞移植レジストリ）」
のご提出が必須



まず、TRUMPのデータ入力・提出の為につかうアカウントは、必要な情報がデータセンターに報告された個人にのみ発行することが可能となります。そのため、各ご施設には、TRUMPのアカウントを持つ方もれなく全員のお名前・メールアドレスの情報をデータセンターまで報告していただく必要があります。

もしご施設内で、新しくアカウントを作成すべき方がいる場合、あるいは、既にアカウントを持っている方のメールアドレスが変更するなど、ご報告いただく内容がある場合は「施設情報確認書（造血細胞移植レジストリ）」のファイルをデータセンターまでお送りください。

ご報告が遅れますと、アカウントのご利用に影響が出る場合がありますし、アカウントの信頼性についても懸念が生じますので、変更などが分かり次第、早めのご連絡をお願いします。

NEW

TRUMPver2.8 (2023年1月公開) 追加機能

個人のデータ入力・提出用アカウントに
個人のメールアドレスを紐づけることが可能となりました

→「ER/ES指針」に対応

- 誰のアカウントが入力したデータであるかの追跡・確認
- 誰のアカウントで提出されたデータかの追跡・確認
- アカウント保持者情報の確実な確認

そして、こちらは最新の情報となります。

2023年1月に公開されました「TRUMPver2.8」より、個人のものとしておつくりいただいたデータ入力・提出用アカウントに、個人のメールアドレスを紐づけることが可能になりました。

これにより、先ほどから何度も登場している「ER/ES指針」に対応し、アカウントの管理の面がより強い信頼性を持つことになります。誰のアカウントが入力・提出したデータであるかの追跡や確認ができ、アカウント保持者の情報を確実にデータセンターで管理することができます。

ポイント「TRUMP管理者」の権限

- アカウントの管理
- TRUMP2データのバックアップや復元
→TRUMP管理者のみ使用可能な機能が有効になります

この権限を割り当てるアカウントは
ご施設内でよくご検討
→必要最小限の人物への付与



なお、TRUMPのアカウントの管理をご施設にて行っていただくことができる点について補足します。

TRUMPのアカウントの管理は、「TRUMP管理者」の権限が与えられているアカウントでのみ行っていただくことができます。

そのほかにも、「TRUMP管理者」の権限があるアカウントでは、TRUMPのデータのバックアップや復元など、一部の非常に重要な機能が使えるようになりますので、誰にでも権限を設定してしまうのではなく、ご施設内でよくご検討の上、必要最小限の人物への付与としてください。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■ 個人メールアドレスの連携

1) アカウントの編集画面を表示し、
メールアドレス欄の「変更」ボタンをクリックします

2) メールアドレス登録・変更画面を表示し、
アカウントに登録するメールアドレスを入力して
「確認コード送信」ボタンをクリックします

※これからメールアドレスを紐づけるアカウントでログイン※

アカウントの編集

ID*: (019002-) user1

Password: 変更する場合のみ入力

Password(確認): 変更する場合のみ入力

氏名*: 末 六幸

移植担当医*: ☒ (現在移植症例を担当されていない医師の場合はチェックしてください)

TRUMP管理者*: ☐

メールアドレス: **変更**

アカウント削除 保存 キャンセル

メールアドレス登録・変更

1. メールアドレス入力
アカウントに登録するメールアドレスを入力してください。
・施設情報確認書等でご連携いただいたアドレスのみ入力できます
・匿名名で利用されているアドレスは利用できません

メールアドレス:

2. 確認コード取得
入力されたアドレス宛に確認コードを送信します。
確認コード送信

3. 確認コード入力
メールをご確認いただき、記載されている「確認コード」を入力してください。

確認コード*:

キャンセル

JDCHCT報告済みの
メールアドレスのみ
連携可能！

では、個人のメールアドレスをTRUMPデータ入力・提出用アカウントに紐づける作業について簡単にご説明します。

まず、これからメールアドレスを紐づけたい、個人のTRUMPデータ入力・提出用アカウントにログインし、アカウントの編集画面を表示させます。Ver2.8以降のTRUMPの画面ですと、こちらのスライドのように、メールアドレスが反映される欄が追加されています。

このメールアドレス欄右横の「変更」のボタンをクリックすると、次に「メールアドレス登録・変更」の画面が表示されますので、アカウントに登録するメールアドレスを入力して「確認コード送信」ボタンをクリックします。

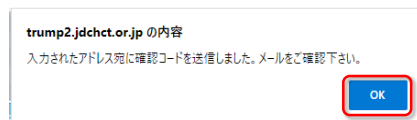
なお、このメールアドレスは、「施設情報確認書（造血細胞移植レジストリ）」を用いてデータセンターにご報告いただいたものしか連携にお使いいただくことができませんので、ご注意ください。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■ 個人メールアドレスの連携

- 3) 確認メールが送信されると、
メッセージが表示されます
※メールを受信するまで
約5分ほどお時間がかかる場合があります



- 4) 入力されたメールアドレスに届く確認コードを
「確認コード」欄へ入力し
「送信」ボタンをクリックします

確認メールが送信されると、メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、先ほど入力したメールアドレス宛に届く確認コードをチェックします。
その後、TRUMPの画面上から「確認コード」を入力し、「送信」をクリックします。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■ 個人メールアドレスの連携

5) 正常に確認コードの入力および「送信」ボタンのクリックが行われると、アカウント編集画面のメールアドレス欄に情報が反映されますので内容を再確認し、問題がなければ保存します



「保存」のボタンを押し忘れてしまうと
ここまでに入力した
メールアドレスが反映されません！

13

ここまでの工程が完了し、正常に確認コードの入力および「送信」ボタンのクリックが行われると、アカウント編集画面のメールアドレス欄に情報が反映されます。あとは、画面に表示されている内容を再確認し、問題がなければ忘れずに「保存」の動作をお願いします。

ここで「保存」のボタンを押し忘れてしまうと、せっかくご入力いただいたメールアドレスを連携せずに終了してしまいますので、必ずご確認ください。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

■ 個人メールアドレスの連携

アカウントに個人名を
登録するだけではだめなの？

「XXXXXX-admin」に
名前だけ登録してる…

どの病院の
TRUMPからもできる？

→ **オンライン登録環境※**でのみ
この機能がご利用いただけます

※データ管理PCがインターネット経由で
TRUMPサーバーと接続している状態

→メールアドレスとアカウントの紐づけにより、
より信頼性のあるアカウント管理

※「XXXXXX-admin」はメールアドレス登録不可

ぜひこの機会に
オンライン登録への切り替えを
ご検討ください！

☒詳細はお気軽にJDCHCTまで



なお、将来的には、メールアドレスの連携が完了しているアカウントからのみデータ入力・提出を可能とすることを検討しております。

アカウントに個人名を登録するだけでは足りないのでしょうか？というお問い合わせをしばしばいただくことがございますが、メールアドレスとの紐づけによって、より信頼性のあるアカウント管理を目指しておりますので、皆様ご協力をお願い致します。

また、すでにお試しいただいているご施設もあるかもしれませんが、こちらからTRUMPのセットアップの為に配布している「XXXXXX（施設コード）-admin」のアカウントにはメールアドレスが連携できません。

これらメールアドレスの連携は、TRUMPをオンライン登録、つまり、インターネット経由でTRUMPサーバーと接続できているご施設でのみ行うことができます。既に多くのご施設がこの方法でTRUMPを使っていたいておりますが、もしメールアドレスの連携ができない状態になっているご施設がございましたら、この機会にオンライン登録への切り替えをご案内できればと考えておりますので、データセンターまでご連絡ください。



「XXXXXX（施設コード）-admin」アカウントの
データ入力・提出機能が**まもなく廃止**となります

速やかにアカウントのご利用方法の見直し、
またTRUMPのデータ入力・提出に関わる全ての方の
個人アカウントの作成にご対応ください



15

そして、全国調査参加施設の皆様には、すでにメールなどでご連絡を行っていますが、TRUMPのセットアップの為に配布している「XXXXXX（施設コード）-admin」のアカウントからデータの入力およびデータの提出を行う機能がまもなく廃止となります。

データの入力あるいはデータの提出は、今後個人アカウントから行っていくことができます。まだ個人アカウントの作成にご対応いただいていないご施設がございましたら、速やかにアカウントのご利用方法の見直し、またTRUMPのデータ入力・提出に関わる全ての方の個人アカウントの作成にご対応ください。

TRUMP2でのアカウントの管理方法について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

より詳細なご説明（一部、TRUMP画面の画像あり）は
「アカウントの取り扱いに関する注意書き（2023年1月版）」
でご確認頂けます

（2023年1月5日 JDCHCTよりメール配信）



再送などをご希望の場合は
JDCHCTまでご連絡ください

16

ここまでにお示した内容は、より詳細なご説明や画像のある資料としてお配りしている「アカウントの取り扱いに関する注意書き（2023年1月版）」でご確認頂けます。お持ちでない方、再送をご希望の方は、データセンターまでご連絡ください。メール添付での資料配布を予定しております。

1. 「ER/ES指針」とは
指針の概要説明
2. TRUMP2でのアカウントの管理方法について
- 3. JDCHCTホームページでの各種案内について**

最後に、JDCHCTホームページでの各種ご案内についてご紹介します。

JDCHCTホームページでの各種案内について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）ホームページ

<http://www.jdchct.or.jp/>

- 研究計画書および関連書類の公開
- 各種レジストリの導入案内
 - 造血細胞移植レジストリ（TRUMP）
 - 細胞治療レジストリ（FormsNet3） ←お問い合わせ多数
 - GVHDレジストリ（TRUMP-GVHD） ←お問い合わせ多数
- 血縁ドナーフォローアップ調査 関連書類の公開
- 全国調査報告書報告書の公開
- 研究関連の情報



18

データセンターのホームページでは、全国調査にまつわる様々なご案内を公開しています。

現在、データセンターでは、【TRUMP】、【FormsNet3】、【GVHDレジストリ】といったご施設にデータ入力いただくレジストリを運用・管理しておりますので、これらのレジストリについてご不明な点がおありの際は、まずはデータセンターのホームページをご覧くださいと、お知りになりたい情報が見つかるかもしれません。

中でも、比較的新しくスタートした【FormsNet3】と【GVHDレジストリ】については多数のお問い合わせをいただく機会がございます。

これらのレジストリを新しく導入されることをお考えの際には、データセンターのホームページをまずはご確認ください。

JDCHCTホームページでの各種案内について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）ホームページ

- 過去のセミナー等に用いた発表スライドの公開 ←おすすめです
<http://www.jdchct.or.jp/study/seminar.html>



19

また、過去のセミナー等に用いた発表スライドの公開も行っております。こちらで公開している資料には、本日のように、全国調査へのご参加にあたって特に皆様にお知りいただきたいことなどがまとまっています。

2021年度 JDCHCT/全国調査ニュース（JSTCT2022）において「全国調査ニュース」でお知らせしました内容は、まさにFormsNet3とGVHDレジストリに関するものでした。

現地でご参加くださった方もいらっしゃるかもしれませんが、よろしければお時間のある時にお目通しいただけますと幸いです。

また、本日の「全国調査ニュース」のスライド資料も、後日公開を予定しております。

JDCHCTホームページでの各種案内について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）お問い合わせ

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 愛知医科大学内

TEL: 0561-65-5821 FAX: 0561-65-5822 メール: jdchct-dc@jdchct.or.jp

血縁ドナー登録センター

TEL: 0561-65-5880 FAX: 0561-65-5822

※全職員の在宅勤務を実施しております※

お問い合わせへのご回答は**メールを中心に対応**させていただいておりますので
何とぞご協力のほどお願い申し上げます。

お気軽に
お問い合わせください！



20

データセンターのお問い合わせ先につきましては、こちらのスライドの通りとなります。

お問い合わせはメールを中心に対応しております。また、ただいま、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、多くの職員が在宅勤務しております。郵送やお電話でのお問い合わせには通常よりもご回答にお時間をいただく場合がございますので、ご了承ください。